

2019年度 神戸女学院大学教職員組合 第四回執行委員会議事録

日 時 2019年7月16日(火) 18:30~20:30

場 所 JD-312 (石川先生研究室)

出席者 石川、西野、藤田、Fukushima、郡司・木村(書記)、小坂

欠席者 北川

※副委員長以下アルファベット順・敬称略

資料: 執行委員メモ(石川先生)

総会での審議事項

ハラスメント委員会

組合費

危機管理

<議題>

[総会での審議事項]

1. 2019年度の活動方針

(1) よりよい職場環境づくりのために

① 懲戒規定

調査委員会から報告書が提出されても、懲戒規定が曖昧なため、理事会での決定が難しい。→適正な規程の策定を急ぐように依頼する。

② 労働時間管理 →組合側からは何も動かず、現状を維持する。

③ 有給休暇の計画的付与 →教員はこのまま、職員は取得を呼び掛ける。

ただし、来年度以降どうするかを学院側と話し合う必要あり。

④ 人員配置 →「人事課(仮)」の設置について要求書に組み入れる

⑤ 休日開講

→アンケートを早めに実施し、要求書に組み入れる。

HPで実施可能かを副委員長から櫻木さんに相談する。

組合員を対象とし、匿名で実施する。

項目内容は休日開講の是非、問題の有無、理由を聞く。

回答方法は単一・複数選択、段階評価、自由記述など。

グーグルフォームなどの活用もありえる。

項目案作成をFukushima先生が担当する。

盛夏休業までに作成・回答開始し、盛夏休業明け数日後に

締め切り予定。期間がもう少し長い方がよい?

⑥ 賞与→要求書に組み入れる

⑦ 労働条件変更の年度末提案

→提案時期がどうしても年度末になるなら、4月からの施行はやめるようお願いする。

(2) よりよい職場づくりに力を発揮する労働組合を

①協力の呼びかけ

②HP 情報アップ→櫻木さんに手配をお願い。

総会資料・執行委員会議事録を挙げる。

現委員長から、過去の委員長に公開しない情報を確認し、

可能な資料を公開する。手配は書記が行う。

③労働組合の学習→後期の課題

④団体交渉・懇談→参加を呼び掛ける

⑤組合資格→資格の明確化のため、副委員長と Fukushima 先生で案の作成を担当。

⑦ 選挙規定→持ち回り制の可能性は？推薦・立候補？後期に具体的に進める。

⑧ リクリエーション

候補日：11月16日（土）

名鉄観光に手配を依頼している。万博太陽の塔ツアー、迎賓館で食事予定。

8月中に決める。太陽の塔の抽選が外れたら宝塚観劇？

⑨ 関西私大教連→ニュースなどの情報を ML にて組合員に情報共有をおこなう

⑩ 学内の3つの組合→引き続き交流・協力を続けていく

⑪ 組合資格を持たない非正規雇用教職員の労働条件

→教員には関西私大教連所属の組合を紹介、職員には組合 HP に窓口になるものを開設して呼びかける？

2. 2019年度の要求事項

要求事項だけを渡すのではなく、対面で説明する時間をいただく

[総会以降の課題への対処]

要求書とは別に添付するのはどうか。→重要事項であるため、要求事項に追記する。

石川先生が高岡先生、横田先生と相談しながら文案作成する。

1. ハラスメント委員会

審問調査委員会を完全に外部委託することを希望する。

外部委託をすると金額は100万円単位で1000万円近くかかる場合も。

ハラスメント対応の件数、内容がわからない。

時間、関係悪化などが問題。他大学であれば規模も大きく距離の遠い者が担当可能。

窓口は内部の教職員の方が相談しやすいが、審問委員会だけでも外部に委託を希望。

2. 組合費の徴収

本年度の予算は総会で決まったので、来年度の予算を次の総会で決める際に変更し、総務に早めに連絡する。規定改訂を行い、必要に応じて組合費を変更する旨を記載。別案として、組合費を下げる、組合員に還元、アルバイトを雇う、託児補助、交通費補助などもある。

3. 危機管理委員会→外部の専門家の力が必要。外部委託を希望する。

4. 働き方改革プロジェクト

プロジェクトの結果、提言をしたが、内容は知られておらず、変化も感じられない。人事課や専門的担当者が必要。総務課に人事の権限はなく、業務内容に含まれない。総務部長・経理部長が職員の人事権をもっている。異動の偏りが大きい。

→提言の文章があれば入手したい。

次回、執行委員会

8月末に要求書を提出予定。その際、同席できる人は一緒に総務課へ。後は分担業務を各自進める。

以上